

## 臨時休業

新型コロナウイルスの感染拡大はおさまることなく、全世界がこのウイルスと戦っています。人類の歴史は感染症との戦いの連続で、医学の発達などにより、人類が克服したものもあれば、インフルエンザのように治療薬を使ってウイルスと戦いながら共存しているものもあります。ウイルスとの戦いは常に、短距離走ではなくマラソンだと思って、粘り強く戦っていくしかありません。歴史上、感染が収束しなかったウイルスはありませんので、必ず収束する日が来ます。それまで一人ひとりが感染防止に努めるとともに、社会全体で感染拡大防止に取り組むしかありません。

新学期を迎えたものの、1年生は入学式のあと休校、2年生3年生は3月から休校となり、長期間授業も部活動もできないという日々が続いています。4月16日の国連の報告では、188カ国で学校が休校となり、15億人の子どもに影響が及んでいるとされています。どこの国でも大きな課題となっているのは、学習についてです。すでに学校から提示された課題に取り組んでいると思いますが、何も授業を受けず自分で学習を進めるのは大変かもしれません。でも、ここは「自ら考え自ら学ぶ」ことを実践する貴重な機会と考え、毎日計画的に学習を進めてください。普段は当たり前前に授業や試験があり、先生からの指示に従って勉強することに慣れてしまっていますが、「何も強いられない時間」を不安な時間とするのではなく、自分から興味関心を持って「主体的に学ぶ時間」としてください。また、休校が長引くほど、「自己管理能力」が重要になります。自分の感情や欲望を上手にコントロールし、健康や学習や生活をしっかり自己管理して計画的に日々を送る力をこの休校期間に身に付けてほしいと思います。

このあともウイルスとの戦いが続きますが、この試練を乗り越えた後は、きっと誰もが今までとは違った気持ち・姿勢で、日々の生活や学習・部活動・学校行事に向き合うことになると思います。当たり前前に毎日やっていたことに対する感謝の気持ちや集中力・忍耐力などは、絶対これまでより高まるでしょうから、今立ち止まっている分の遅れは必ず取り戻せます。

アメリカの詩人ホイットマンは「草の葉」という作品の中で、「寒さにふるえた者ほど太陽の暖かさを感じる。人生の悩みをくぐった者ほど生命の尊さを知る」と言っています。人生において、つらいことや苦しいことを経験した人ほど、それを通り抜ければ、生きること・生命の尊さを知ることができるということです。この試練の後には、誰もが今までとは違う世界を見ることができるでしょう。

(令和2年4月23日)